

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	精神障害者入院医療費助成事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	03	01	02	01	57
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）			主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり			主管課長	増田 恒夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	精神疾患のため入院療養している精神障害者の保護者又は障害者	意図	医療費の一部を助成することにより、その経済的負担を軽減し、精神障害者等の福祉の増進を図る。
事業内容	入院医療費が高額で医療費の支払い負担が大きい低所得の世帯に対し、1ヶ月の入院医療費の一部負担額から公的な助成を差し引いた額の4分の1の助成を行う。（月額10,000円を限度）			
事業開始から現在までの状況変化	精神障害者の場合、入院が長期にわたり、入退院を繰り返すケースがある。その入院費については、ほとんどが保護者（親や兄弟等）が負担しているので、経済的負担が大きなものとなっている。そのため、入院費用の一部を助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図るために開始したものである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	助成対象者数	17	23	26	人	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 助成事業の周知や精神障害者の増加により、件数が徐々に増加している。	
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		937,138	1,376,704	2,199,840				
事業費(b)(円)		715,078	1,149,424	1,984,500				
うち一般財源		715,078	1,149,424	1,984,500				
職員給与費(c)(円)		222,060	227,280	215,340				
人役・職員(人)		0.03	0.03	0.03				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	平成22年度から実施された新制度であるため、広報等で周知を図る。	③取り組みの課題	実施から、3年が経過し、制度が周知されては来たが、引きつづき周知方法を検討する。
②今年度(H24)に実施した取り組み	市の広報及びホームページでも周知を図った	④今後の改善計画	精神障害者団体等へ助成制度について説明し周知を図る。